

京都精華大学 教育後援会 2025年度 第1回役員会 議事録

開催日時：2025年5月31日（土）11時～12時

開催場所：H-417 会議室、オンライン

役員出席者：

（会長）兒玉 修一、（副会長）椋本 千鶴子、（監事）松本 高志※、（会計）小林 江美子、
（以下、学部幹事）佐々木 潤子※、小栗 幹大※、高木 隆次※、小野 佳代、甲谷 優枝、
張 暁華、内屋敷 敦 ※オンライン参加

役員欠席者：

（監事）篠崎 聡、（学部幹事）高橋 安以子、迫田 真紀子

本学出席者：

（学長・教育後援会顧問）澤田 昌人、（副学長）三河 かおり、森原 規行、（教務部長）吉岡 恵美子、
（学生部長）田村 有香、（教学グループ長）下田 啓真、（学生グループ長）山元 英昌、（経営企画グループ長）飯澤 ちあき、（経営企画グループ）加藤 由佳

記録：

（経営企画グループ）若林 麻由佳

議事事項

1. 京都精華大学 概要・2025年度概況

事務局から、資料に基づき、説明があった。

2. 2025年度教育後援会について

事務局から、資料に基づき、提案があった。審議の結果、承認された。

3. 2024年度事業報告および決算

事務局から、資料に基づき、提案があった。審議の結果、承認された。

役員から、令和6年能登半島地震被災学生支援のための寄付金について、留置き分の金額が会計報告書に記載されていないが、どのように管理しているのか、と質問確認があった。

事務局から、経理チームへ確認のうえ、総会資料では、状況が分かるよう明示する、と説明があった。

役員から、会費の徴収方法を4年間分の一括納入から1年ごとの年度納入に変更したことについて、メリットは何か、と質問があった。

会長から、一括納入の方法では、退学者への返金を行うことが難しく、年度納入の方法に変更することで改善を図った、と説明があった。

役員から、前受会費は今後も毎年度発生するのか、と質問があった。

事務局から、毎年度発生する、と説明があった。

4. 2025 年度事業計画および予算

事務局から、資料に基づき提案があった。審議の結果、承認された。

役員から、2023 年度と 2024 年度は、キャンパス内照明への寄付を実施していたが、2025 年度も継続するのか、と質問があった。

事務局から、学内環境の整備支援の内容については、今後施設管理チームと検討を行なったうえで決めていくことになる、と説明があった。

役員から、学生応援ランチは、学生に人気であるにも関わらず、1 日あたりの販売食数を 150 食から 100 食に減少させたのはなぜか、と質問があった。

事務局から、販売食数については、食堂からの要望に基づいて決定したが、今後、増加を検討してもらうよう、食堂に相談する、と回答があった。

役員から、物価が高騰しているにもかかわらず、学生応援ランチの値引き前の価格が 50 円減額となった理由について、質問があった。

事務局から、今年度は季節毎に固定したメニューを販売するよう、食堂に依頼したところ、そのメニューの価格を食堂が 450 円と見積もった。以上の経緯により、値下げ前の販売価格が 50 円下がることになった、と回答があった。

役員から、食堂の運営は大学で行っているのか、委託しているのか、と質問があった。

学長より、食堂の運営は株式会社不道家商事という業者に委託している、と回答があった。

役員から、教育後援会事業について、保護者にさらなる周知を図っていただきたい、と意見があった。

全議事の終了が宣告された。

以上